

准看護師、看護師、そして助産師へと
スキルアップ。
そして現在は、母校の後輩へ
「看護のすばらしさ」を伝えています。

広島市医師会看護専門学校

教員 **土手美保** さん

医療専門課程 34回生



看護師になりたいと思ったきっかけ

小学校の時、怪我をして整形外科に通院したことがありました。その時の看護師さんや理学療法士さんとの関わりが看護師をめざすきっかけになりました。もともと体を動かすことも好きだったので、体も動かせて、人と接する仕事がしたいという思いもありました。

本校へ進学した理由

看護師か理学療法士かで進路を悩んでいたのですが、仲のいい友達が、「働きながら学べる学校があるんだよ」と教えてくれて、少しでも学費が親の負担にならなければいいなという思いもあり、広島市医師会看護専門学校医療高等課程への進学を決めました。



学生に移乗の仕方を説明する土手さん

本校で学べて良かったと思うこと

外部講師を含め、先生方が多くいらっしゃったので、たくさんのことを学べたところです。

在学中の一番の思い出

やはり実習ですね。実習は本当に大変でしたが、グループの仲間たちに支えられ、学びも多く、また、患者さんの笑顔を見ることができたり、「ありがとう」と言ってもらえた時は、とてもうれしかったです。

学生として勤務するなかで努力したこと

看護師として勤務しておられる先輩が患者さんのケアに行かれる時は、一緒について行かせてもらいました。また、お産につかせていただいた時は、どのような声掛けをし、処置をしておられるのかを見入っていました。

准看護師から看護師へのスキルアップ

准看護科に入学した時から、看護師を目指していました。また、ずっと産婦人科で働いていくうちに、いつかは助産師になりたいと思うようになり、そのためには、まず看護師にならなければということで、看護科に進学しました。

看護師免許取得後について

准看護科から5年間ずっと学校と仕事の両方がんばってきたことと、助産師学校には、3、4年後に進学しようと決めていたので、免許取得後は看護師としての勤務に専念しました。

助産師学校進学に向けての勉強

入試の倍率が高かったので、予備校に週2日通い、問題集を解くなど毎日コツコツと勉強しました。また、産婦人科で行う日々の仕事が、勉強にもつながり、合格できたのだと思います。

助産師としての勤務

助産師免許取得後、勤務先をどこにするか考えましたが、学生時代からずっとお世話になっていた病院に戻り、勤務することにしました。そこで13年間、助産師として勤務。学生時代から合わせると、約20年お世話になりました。

勤務していた病院では、外来の診察補助、お産の介助、手術も行われていたので、手術の機械出しなど、多くのことを経験させていただき、とても良かったなと思います。

病院勤務で一番でうれしかったこと

お産介助で「命の誕生」という、本当にすごい現場にいさせてもらえることがとてもありがたく、一番の喜びでした。もちろん、命に関わるということで、大変なこともあります。お子さんが誕生した時は、毎回毎回鳥肌が立つ思いでしたし、感動していました。今でも思い出すと涙が出てきます。

家庭と仕事の両立について

助産師となり数年後に結婚。そして出産もしました。育休明けは、夜勤は免除してもらっていたので、日勤勤務で働いていました。また、両親にも助けてもらいながら家庭と仕事を両立していました。

なぜ、教員になろうと思ったのか？

勤務していた病院が、実習病院だったこともあり、看護学校の先生と関わる機会があったことと、実習に来られる学生さんのほとんどが、母性の分野が苦手な方が多かったことが始まりです。母性を愛する私にとっては、少しでも学生の皆さんに母性を好きになってもらいたいという思いが芽生えました。

そして、助産師として、そのまま病院で働くのもよかったのですが、知識、技術もある程度身についた今、看護者として次なるステージに挑戦してみたいと思うようになりました。

実際に教えるとなると、勉強もしなければならぬのですが、そういった理由から、もう一度しっかりと学習して、教える立場になってみたいと決心し、教員になりました。



血圧測定について指導する土手さん

教員として、やりがいを感じる場面

今年の5月で教員生活6年になります。専門の母性だけでなく、医療高等課程（准看護科）1年生に、基礎看護技術なども教えています。学生に「ああ、そうだったんだ。意味がわかった」、「説明がわかりやすかった」と言ってもらえた時には、教員をやっていてよかったなと思います。

看護技術もそうですし、母性の内容などについて説明していくうちに「ああ、こういうことだったんだ」と理解し、点と点が線で繋がってくれた時は、とてもうれしいです。

めざす看護師像

看護師は人と接する仕事なので、患者さん、学生だけでなく、関わるすべての人とのふれあいを大切にしていける看護者になりたいと思っています。

本学に入学し、看護師をめざす方へのメッセージ

看護の学びは、初めは聞いたこともないような言葉が飛び交う世界ではありますが、勉強していくなかで、点と点が繋がり、意味が理解できた時というのは、本当にうれしいです。そこから、その学びが患者さんのためになり、実践できるというのは、本当に素晴らしいことだと思います。

私もどちらかといえば、勉強が苦手なタイプだったので、少しずつでも努力しながら、がんばって学習してください。看護師という職業は、活躍できる場がたくさんあります。そこで力を発揮できるような成長を本校でもらえたらと思っています。